ことがある。

お弁当を鞄に入れてあげようと思ったが、鞄が一杯なのでどうするときくと、マジックバッグに入れて行くといってそのマジックバッグだけ持ってお弁当を置いていってしまう、という具合だ。

父は、今まで、俺は俺の仕事をすると仕事第一で、子どもたちとは精神的に大分はなれたところにいた。母は、その橋渡しをしていたが、この頃は、自分で事業を始めたこともあって、自分の仕事の夢を母にも子どもにも語り始めた。

自分の研究の実験データを子どもたちにもみせ、

「こうやって一つ一つたんねんに、正確に書いて行くんだぞ」と話してくれる。

自分の仕事を具体的に理解させると同時に、〃うっかり〃は許されないんだぞとT雄にいいたいらしい。

また、この頃、T雄の将棋の相手をしてやる。T雄が考えずに打つと、

「あとでその手はムダだったと思わないように十分考えてから打て」と叱る。

今夜も将棋をしている。

もう九時半になる。明日の朝もT雄は練習があるからもう寝た方がいいのにと母はハラハラする。

父は「鍛えねば」という顔をして、ドッシリ構え、自ら、長く長く考えて一手を打つ。

☆　☆

五回にわたって「T雄の成長」を載せました。一応、ここでおわります。

なお本誌、60巻4号から12号まで＝幼稚園に入園するまで—T雄の記録(4号)、入園前の子どもの一日(5号)、T雄の入園—母親の記録より(6号)、幼稚園に入園して(7号)、T雄君の幼稚園生活—入園後一月半(8号)、一学期を過ぎて(10号)、夏を終って(12号)＝にT雄の幼稚園時代のことがくわしく載っています。ご参照下さい。

幼児の教育　第六十八巻　第十号

十月号　©　定価八〇円

昭和四十四年九月二十五日　印刷
昭和四十四年十月　一　日　発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼発行者　津　守　真

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所　日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一
印刷所　凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所　株式会社フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします